

企画・アイデアの選定結果

1 あいちカーボンニュートラル戦略会議の概要

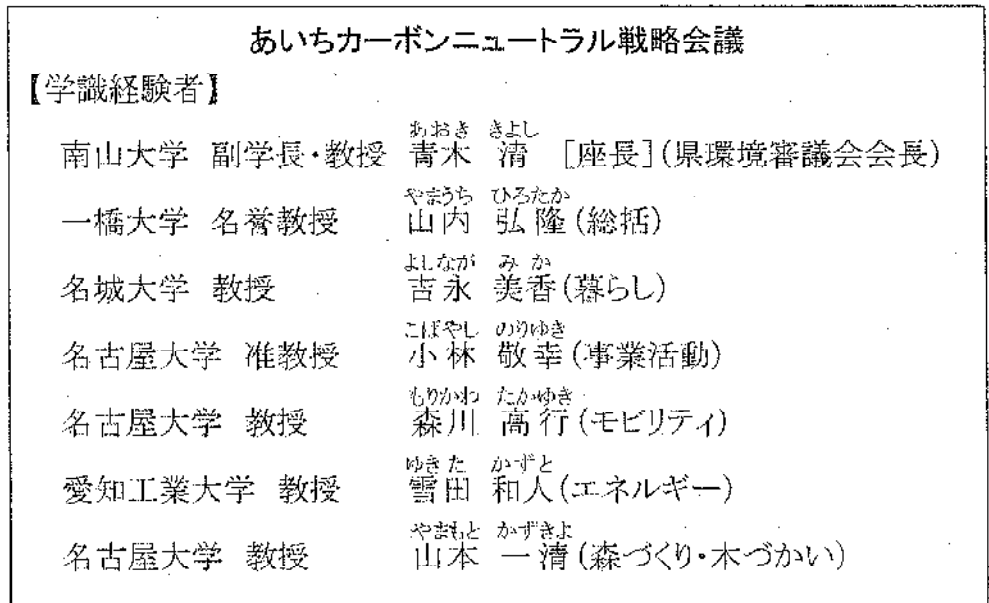
○「あいちカーボンニュートラル戦略会議」は、各分野の脱炭素対策に精通する学識経験者で構成し、企業・団体から提案があった「カーボンニュートラルの実現に資する具体的なプロジェクト案」から事業化の優先度が高いと認められるアイデアを選定することで、カーボンニュートラルの実現に向けた新たなプロジェクトの創出を目指す。

【目的】

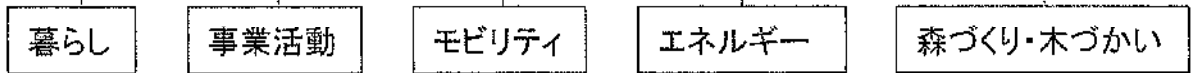
「あいち地球温暖化防止戦略2030」の取組を加速するため、カーボンニュートラルの実現に向けた新たな取組を検討し、本県の温室効果ガス排出量の削減や吸収に資する具体的なプロジェクトの創出を目指す。

【概要】

各分野の脱炭素対策に精通する学識経験者で構成するとともに、戦略会議の下に、「エネルギー」や「モビリティ」、「森づくり・木づかい」、等の分野ごとに、学識経験者や県庁内関係課室で構成する「分科会」を配置する。



(分科会)



【優先度の高いプロジェクトの選定方法】

戦略会議においてアイデアの内容を総合的に検討し、事業化の優先度が高いと認められるプロジェクトを選定する。

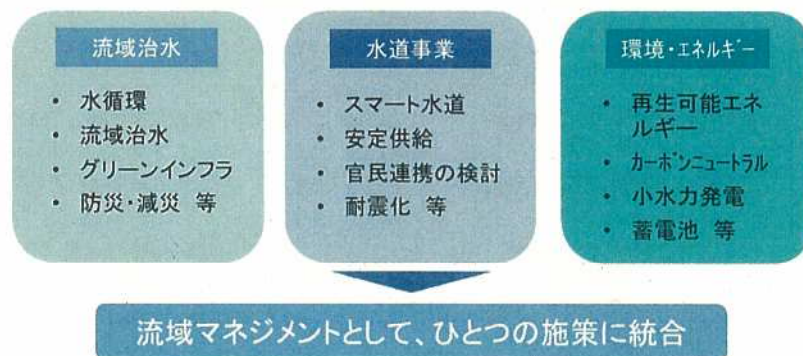
2 第1回あいちカーボンニュートラル戦略会議の選定結果

- 7月13日に開催した「第1回あいちカーボンニュートラル戦略会議」において、企業・団体から提案があった7件のアイデアについて、総合的に検討を行った。
- その結果、一般社団法人環境未来フォーラムから提案のあった、流域治水、水道事業及び環境・エネルギーを含む総合的なパイロットプロジェクトを矢作川流域で展開する「(仮称)中部流域プロジェクト」が、事業化すべきプロジェクトとして選定された。

【「(仮称)中部流域プロジェクト」の評価結果】

○提案概要

提案企業・団体名	一般社団法人 環境未来フォーラム
分野	エネルギーその他(流域治水、水道事業)
タイトル	(仮称)中部流域プロジェクト(流域治水、水道事業及び環境・エネルギーを含む総合的なパイロットプロジェクトを矢作川流域で展開する)
概要	矢作川流域をモデルとして、流域マネジメントなどを念頭に、治水・水道事業・エネルギーという3つのテーマに分けて検討を行い、AI や IoT を活用しながら、地域にとって最適な流域まちづくり、効果的な水道システム、カーボンニュートラルに貢献するエネルギーの仕組みを構築
課題	本来ならば「水源から蛇口まで」一気通貫で治水・水道・エネルギー等に関する施策を総合的に推進することが理想であるが、関連する省庁・役所の組織が分かれていることから相互の連携や調整がうまく機能しないことがある。



○評価結果

評価項目	評価内容
総合評価	流域を一体として、水に関わるあらゆる分野の連携を図っていくスケール感のあるポテンシャルの高い提案であり、全国初のモデルケースとなるのが期待できる 等

結果を受け、本県は「矢作川カーボンニュートラル(CN)プロジェクト」として取り組んでいく